令和８年度千葉県キャラバン・メイト養成研修開催要項

１　目的

地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」を育成するための「認知症サポーター養成講座」の講師役「キャラバン・メイト」を養成する。

２　開催概要

	日時	場所	定員
第１回	令和８年６月２３日（火） 午前９時３０分～午後４時３０分	千葉県教育会館新館501会議室	９０名
第２回	令和８年１２月９日（水） 午前９時３０分～午後４時３０分	千葉県教育会館新館501会議室	９０名

３　実施主体

千葉県

４　受講対象者

次の要件のうちいずれか１つ以上該当する者で、年間 10 回程度を目安に（最低実施数３回）、「認知症サポーター養成講座」を原則としてボランティアの立場で行える者。

・認知症介護指導者養成研修修了者
・認知症介護実践リーダー研修（認知症介護実務者研修専門課程）修了者
・介護相談員
・認知症の人を対象とする家族の会
・上記に準ずると自治体等が認めた者

行政職員（保健師、一般職等）、地域包括支援センター職員、介護従事者（ケアマネジャー、施設職員、在宅介護支援センター職員等）、医療従事者（医師、看護師等）、民生児童委員、その他（ボランティア等）

５　研修内容・時間

別紙「千葉県キャラバン・メイト養成研修カリキュラム」のとおり。

６　修了証の交付

研修修了者に対し、全国キャラバン・メイト連絡協議会の修了証を交付するものとする。

７　キャラバン・メイト登録について

・「認知症サポーター養成講座」を実施する者をキャラバン・メイトとし、全国キャラバン・メイト連絡協議会に登録する。
・登録者の情報は、「認知症サポーター養成講座」の実施を目的として、市町村に提供するものとする。

８　受講費

無料（参加のための交通費等は本人負担）

別　紙

千葉県キャラバン・メイト養成研修カリキュラム

内容	目的	標準時間	テキストの該当章
Ⅰオリエンテーション 1　研修の進め方、ねらいについて 2　千葉県の取組について 3　認知症サポーターキャラバンとは 4　チームオレンジの概要紹介 5　キャンペーンビデオ上映	①キャラバン、事業展開の趣旨を理解する。 ②千葉県としての事業の位置づけを認識する。	30 分	序章
Ⅱ 認知症サポーターに伝えたいこと **1　認知症を理解する** ・認知症とはどういうものか？ ・認知症の症状 ・中核症状 ・行動・心理症状とその支援 ・認知症の診断・治療 ・認知症予防についての考えかた ・認知症の人と接するときの心がまえ ・認知症介護をしている人の気持ちを理解する	**認知症サポーター養成講座でサポーターに伝える内容について学習する。** ①認知症とはどういう病気なのか、認知症の人や介護をしている人をどう支援したらよいのかを理解する。	120 分	第1章
2　「認知症サポーターとは」 ・認知症サポーターのできること	②地域や職域において、自分ならどういうサポートができるのかを考えてみる。		第2章
Ⅲ 認知症サポーター養成講座の運営方法 **1　認知症の人を地域で支える** ・認知症サポーターの活動事例	①認知症の人を地域で支える視点。 ②認知症の人の助けになる地域の社会資源やネットワークをおさえる。	200 分	第3章
グループワーク１ こんなとき、どこにつなげたらいいか考えてみよう			
2 キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際 **――対象者の検討**	①キャラバン・メイトの役割の理解とサポーター養成講座の対象者の検討。 ②サポーター養成講座を展開する上で協力してもらう機関の洗い出し。		第4章
グループワーク２ 講座の展開に協力してもらえそうな機関等はどこだろう・・・講座の開催先を考える			
3 キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際 **――サポーター養成講座の実際**	①サポーター養成講座の運営方法を確認する。 ②サポーター養成講座の企画や講座のポイントについて理解する。 ③サポーター養成講座受講対象者別カリキュラムの作成。		
グループワーク３ 受講者に合わせたカリキュラムをつくってみよう			
Ⅳ 事務連絡	①キャラバン・メイト登録について ②サポーターカード・修了証授与	10 分	

※状況に応じて時間の割り振りに変更あり　　計 360 分（6 時間）　※休憩時間を適宜はさむ